

保護者様

館林市立第九小学校
校長 新島 邦彦

「第2回学校評価 保護者アンケート」の結果と改善策について

「第2回学校評価 保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果ならびに今後の改善策等をお知らせいたします。

1 アンケート結果

評価内容		A	B	C	D	A+B
1	学校便りや学年・学級便り、ホームページなどから学校の様子や子どもたちの様子がよく分かる。	33%	57%	9%	1%	90%
2	授業参観や学校行事などに進んで参加している。	53%	44%	2%	1%	97%
3	学校は、家庭訪問や学級懇談会などを通して、学校や担任の考えをわかりやすく伝えている。	43%	45%	12%	1%	88%
4	学校は、事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応を迅速かつ的確に行っている。	47%	47%	5%	1%	94%
5	学校は、授業や行事などの充実のため、保護者や地域住民などの人材を効果的に活用している。	47%	47%	6%	0%	94%
6	授業参観等で見た授業はお子さんに分かりやすいと思う。	50%	45%	5%	1%	95%
7	お子さんには自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身についていると思う。	12%	62%	23%	2%	74%
8	お子さんには毎日自主的に家庭学習をする習慣が身についていると思う。	10%	49%	35%	6%	59%
9	お子さんは進んであいさつをしている。	29%	50%	19%	3%	78%
10	お子さんは、大人や先生に丁寧な言葉づかいをすることができている。	21%	57%	18%	4%	78%
11	お子さんは友達と良い人間関係を築けており楽しく学校生活を送れている。	44%	51%	4%	1%	95%
12	学校はお子さんのことで連絡や相談がしやすい。	34%	56%	10%	0%	90%
13	学校はいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	25%	60%	13%	2%	84%
14	家庭では、毎日十分な睡眠時間を取り、朝食をとって登校させている。	47%	46%	5%	2%	92%
15	学校は、地域・保護者と協力して交通安全指導や通学路の点検、安全パトロールを行うとともに、災害や不審者対策などお子さんの安全対策を行っている。	57%	37%	5%	0%	95%
16	夢カードや「夢通信」をもとに、お子さんと将来のことについて話し合っている。	32%	54%	12%	2%	86%

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない

→裏面もご覧ください

2 考察

(1) 評価が高かった項目

以下の3つの項目は、多くの保護者の方が高い評価(AとBの合計が95%を上回ったもの)をしているものです。

項目 2	授業参観や学校行事などに進んで参加している。
項目 15	学校は、地域・保護者と協力して交通安全指導や通学路の点検、安全パトロールを行うとともに、災害や不審者対策などお子さんの安全対策を行っている。
項目 11	お子さんは友達と良い人間関係を築けており楽しく学校生活を送れている。

上記の3項目については、第一回学校評価でも高い評価をいただいております。また、今回は、項目 16「夢カードや『夢通信』をもとに、お子さんと将来のことについて話し合っている。」の評価も大幅に上昇しました。いずれも保護者の方の教育に対する意識の高さに支えられての成果ですので、今後とも、ご協力お願いいたします。

(2) 今後、改善したいこと

項目 7 自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力

身の回りの様々な課題に対し、自分の考えをまとめ、それを相手に伝える力は、とても大切なものです。そこで、今後は、次の3点に留意していきます。

①学習内容を丁寧に理解させた後、少し難易度の高い適用問題にも取り組ませ、「解いてみたい」「解けると楽しい」と思う体験をさせていきます。

②「自分の考えをまとめる」ことに苦手意識をもつ児童に対し、教師がモデルとなる例文や話型を示して、学んだことや考えたことを発表できるよう支援していきます。

③児童が自分の考えを整理する時間を確保したり、自分の言葉で言えるまで待つことを意識したりすることにより、自分の考えを発表する経験を増やしていきます。

項目 13 いじめの未然防止・早期発見・早期対応

前回と比べて8ポイント数値が落ちてしまったので、その原因の究明と改善を図っていきたく思います。そこで、今後も次の3点に留意していきます。

①担任以外の教職員とも協力して情報収集を行い、児童の人間関係の把握に努めていきます。

②学校でのいじめ防止についての取り組みについて、ウェブページや各種たよりも利用して情報発信していきます。

③学級や児童会活動等を通して、児童同士の関係作りを行い、一人一人が認められる温かい学級・学校作りに努めていきます。

項目 9 進んであいさつをすること

あいさつは、人の心と心をつなぐ大事なものです。特に登下校時にお世話になっている旗振り当番や見守り隊の方々に対するあいさつは、自分から先に、大きな声で、目を見て行ってほしいものです。そこで、今後は次の2点に留意していきます。

①あいさつの大切さや金・銀・銅のあいさつについて、クラスで再確認し、意識的にあいさつを行えている児童がいたら、褒めたり、紹介したりしていきます。

②大人が進んで、あいさつを積極的にすることで、子どもたちに模範を示すとともに、根気強く子どもたちに「おはよう」「ありがとう」などの声掛けをしていきます。保護者の皆様にもご協力お願いします。

3学期も家庭や地域と学校とが、ともに手を携えるパートナーとして、それぞれの立場でできることに取り組み、子どもたちの成長を一緒に支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。